

オンデマンド型遠隔形式＋対面形式（1泊2日）新任教員研修
授業デザインの基礎ワークショップ

オンデマンド型遠隔形式と対面形式を組み合わせた授業デザインに関する新任教員向け研修を開催します。本研修では、生成AIを活用する方法に加え、ミネルバ大学で実践されている汎用的能力育成の手法も取り入れ、授業デザインを行います。

■オンデマンド型遠隔形式

オンデマンド型のミニ講義を視聴し、選択した一科目のシラバスをワークシートを用いて見直します。

■対面形式

オンデマンド型の遠隔研修内容を踏まえ、異なる専門分野の教員が、肩書きなしの普段着で対等な意見交換を行うことで、学習効果を高めます。授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程を、グループ作業を通じて体験し、参加者同士のディスカッションを重ねることで、授業担当に必要な基礎知識や技術を学びます。また、全員が10分間の模擬授業を行います。

講師・ファシリテーター

牧野治敏・鈴木雄清（大分大学）
西村謙司・東寺祐亮（日本文理大学）
ほか

■オンデマンド型遠隔形式

日時 11月下旬～12月11日 水

■対面（合宿）形式

日時 12月21日 土 10:00-17:00
～12月22日 日 9:30-13:00会場 日本文理大学 湯布院研修所
大分県由布市湯布院町川上茶屋の上 3366-4

- ※1. 希望者には、大分駅および由布院駅から会場までの送迎を予定しています。
- ※2. 本研修は合宿形式で行いますが、宿泊せずに会場に通っての参加も可能です。

参加費（予定） 14,000円（宿泊費、食費、交流会費を含む）
※最終的な金額やお支払い方法は、お申し込み後にご連絡します。

定員・対象 20名程度

オンデマンド型遠隔形式と対面形式（2日間）の全研修に参加できる方

- ・主に授業担当経験5年以内の授業担当教員または担当予定の教員（実務家教員を含む）
- ※参加を希望する授業担当経験5年以上の教員も歓迎します。

研修の目標

1. 学生の学修を促すシラバスを書くことができる。
2. さまざまな授業方法の特徴を理解し、学修目標に適した授業方法を選択できる。
3. 教育評価の原理と種類を理解し、学修目標に適した評価方法を選択できる。
4. アクティブラーニングを取り入れた授業の計画を作成できる。
5. 作成した授業計画案にもとづいて模擬授業を実践できる。

お申し込み（必須）

以下のウェブページのフォームから、

10月31日 木 までにお申し込みください。
otl.iem.oita-u.ac.jp/202412fd/

主催

構成大学等
学校コード順事務局
お問い合わせ先

大分大学、大分県立看護科学大学、日本文理大学、別府大学、立命館アジア太平洋大学、大分県立芸術文化短期大学、大分短期大学、東九州短期大学、別府溝部学園短期大学、別府大学短期大学部、大分工業高等専門学校、放送大学大分学習センター
大分大学地域連携プラットフォーム推進機構
大分大学教育マネジメント機構教学マネジメント室（学生支援部教育支援課）
097-554-7913, 7132 teaching@oita-u.ac.jp

※ otl.iem.oita-u.ac.jp の「お知らせ・報告」欄から、詳細情報ご覧いただけるようになります。